



この地域に住んでよかった

助け  よしみ

吉 水

12月1日現在 <前月比>

65歳以上男 1,702人<-1>

65歳以上女 2,007人<-1>

高齢化率 21.11%<+0.03>

発行 吉身学区社会福祉協議会



“支え愛 助け愛”の“まち・よしみ”



吉身学区社会福祉協議会 事務局長 馬場春造

新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え吉身学区皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。昨年は社会福祉協議会に対しましてご支援ご協力を賜りありがとうございました。

ここ数年来新型コロナウイルス感染症に伴い会議・イベントなど中止・自粛をしてまいりました。昨年は、専門部会「福祉部会、広報部会、ボランティア部会、福祉協力員連絡協議会」の部会長及び代表を中心に皆さんが智恵を絞り、感染対策を徹底して活動を再開して頂きました。お陰さまで徐々ではありますが元の姿に戻りつつあります。

又、助け愛よしみの活動は「地域密着型便利帳」に続き「ごみ出しボランティア」の活動をそれぞれ自治会の協力を得て進めてまいりました。

令和5年度は第三次地域福祉活動計画の最終年度であり、第四次地域福祉活動計画作成の年になります。“支え愛・助け愛”の“まち・よしみ”の更なる実現を目指して、住んでよかった、と言って貰える活動計画を作成し、実践していきたいと思っています。

年始めに福祉の考え方として

“未来があるから今を生きるのではなくて”“今があるから未来がある（今が大事）”
そんな年にしたいです。



最後になりますが、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザが並行して拡大すると言われています。感染対策を徹底して、新しい年を元気にお迎え頂ければ幸いです。

12月
3日

福祉講演会

主催：広報部会

「障がい者の両親の元に生まれて」～ヤングケアラーの気づき～をテーマに福祉講演会が開催され、HairDresserTiCA オーナー 高橋美江さんを講師にお招きし、障がいがある両親への思いや、ご自身の子ども時代の気持ちや経験、気づきをお話いただきました。

ヤングケアラーという新しい言葉への理解が深まり、地域でどのように対応するのかを考えるための講演になりました。

11月
11日

在宅介護者のつどい

主催：福祉部会

自宅で介護をされている方にリフレッシュしていただくため、お風呂で使う「しゅわしゅわバスソルト」を作成しました。講師に香りの持つ効能を聞き、好みの色を付けて完成！その後、交流会を開き、介護についての情報交換をされました。



活動報告パネル 作成しました

民生委員と福祉協力員の活動内容が良くわかるパネルを作成しました。会館に設置しています。

